

施策評価表

京都市南丹市
作成日：平成23年7月1日

平成23年度(平成22年度実施)

| | | | | | | | |
|-------|-----------------------|------|----|-------|-------|-----|-------|
| 評価施策名 | 2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てる | 施策CD | 12 | 施策主管部 | 教育委員会 | 部長名 | 大野 光博 |
| 政策名 | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | | | 施策関係部 | 市民福祉部 | | |

【施策の概要】

1 南丹市が考える理想(目的)

| 目標項目(成果) | 単位 | H20 | H21 | H22 | | H23 | H24 |
|------------------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 目標値 |
| 改修済の幼稚園、小・中学校施設数 | 施設 | 1園、9校 | 2園、10校 | 2園、13校 | 2園、13校 | 2園、14校 | 2園、15校 |
| 学力水準度 | | 良好 | 良好 | 概ね良好 | 概ね良好 | 概ね良好 | 良好 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

- 非常災害に備え、耐震強化を図るとともに、良好な教育環境の整備を図ること。
- きめ細やかな指導で、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身につけることにより「確かな学力」の定着を図ること。
- これからの変化の激しい社会において、他人と協調しつつ、自立的に社会生活を送っていくために必要となる「生きる力」(人間としての実践的な力)の育成を図ること。

1 南丹市の現状(課題)

- 非常災害に備えた耐震強化が出来ていない。
- 良好な教育環境の整備が出来ていない。
- 少子化の中で複式学級を有する学校が、今後なお増加する見込み
- 小規模校のメリット・デメリット含め、子どもにとってどれが最善か、検討できていない。
- 学校以外での勉強をする時間が少ない。
- 児童・生徒の読解力が低下している。
- 指導力や授業力の向上がないと、「確かな学力」の育成に支障がある。
- 核家族化の進行などにより様々な生活体験の機会が減少している。
- 自発性・行動力を育む機会が減少している。
- 自ら学び考え行動できる「生きる力」の育成が重要な課題となっている。

2 対策をしなければどうなるのか

- 巨大地震が発生した際には、学校施設が崩壊する可能性がある。
- 将来の南丹市を背負って立つ小・中学生の学力・意欲の低下を招く。
- 小・中学生の生きる力の育成が果たされなければ、社会適応力がつかない。

3 それは何故おきたのか

- 学校には、築40年以上経過したものや旧耐震基準により建設されたものがある。
- 子どもたちの活字離れが進んだ。
- 国語力・考える力を育む機会が減少している。
- 小・中連携が不十分であった。
- 教育のPDCAサイクルの確認(評価)ができていなかった。
- 家庭学習の習慣が定着していない。

4 それらを解決するために何をするのか

- 子どもたちの発達にとって最適な教育環境を整備する。
 - ・学校施設等の改築や改修
 - ・学校規模の適正化と適正配置に関する検討
 - ・教育における情報通信基盤の整備と教職員の技能向上
 - ・遠距離通学を行う児童や生徒を持つ家庭への支援
 - ・児童生徒を守る安全対策の充実
- 教育内容を充実させる。
 - ・授業改善や指導方法の工夫改善
 - ・国際理解教育の推進
 - ・読書活動の推進
 - ・障がいのある児童等に対応できる教育体制の整備
 - ・山村留学の実施
 - ・心の教育の推進
 - ・保育所、幼稚園、小学校、中学校間の連携・接続
- その他
 - ・学校評価・キャリア教育の充実
 - ・PTA等と連携した家庭教育学級の充実

【施策コスト】(評価対象事業の合計)

| | 単位 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 決算額(計画額) | 千円 | 313,157 | 702,415 | 461,315 | 195,970 | 243,580 | |
| 財源内訳 | 使用料・手数料 | 千円 | 6,845 | 23,779 | 4,455 | 5,963 | 4,826 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 12,699 | 333,587 | 113,036 | 4,229 | 26,194 |
| | 地方債 | 千円 | 3,300 | 85,813 | 35,700 | 0 | 24,700 |
| | 一般財源 | 千円 | 290,313 | 259,236 | 308,124 | 185,778 | 187,860 |
| 職員従事人数 | 人・年 | 7.56 | 74.70 | 9.46 | | | |
| 人件費 | 千円 | 39,689 | 192,295 | 61,807 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | 352,846 | 894,710 | 523,123 | | | |

【施策目標の達成に貢献度の高い事業】

全 36 事業 単位:千円

| 事業名(細事業名) | 決算額 | うち一般財源 | |
|--|--------|--------|-------|
| | | うち一般財源 | うち人件費 |
| 学力充実、少人数指導事業(学力充実、少人数指導事業) | 1,714 | 1,714 | 1,714 |
| 小・中学校英会話事業(小・中学校英会話事業) | 10,174 | 10,174 | 2,082 |
| 生きる力を育む学校教育環境整備検討事業(生きる力を育む学校教育環境整備検討事業) | 2,066 | 2,066 | 2,054 |
| 小学校教育振興事業(小学校教育振興事業) | 14,154 | 14,154 | 0 |
| 教育振興事業(教育振興事業) | 24,158 | 24,158 | 2,176 |
| 中学校教育振興事業(中学校教育振興事業) | 7,592 | 7,592 | 0 |
| 通学対策事業(通学対策事業) | 14,487 | 12,754 | 1,710 |

【前年度の評価】(要約)

【総合評価】

耐震化については、1園1校の耐震化を完了し、目標値を達成した。
学力水準についても、目標を上回る「良好」という結果であった。

【改善の方向性】

- * 生きる力を育む学校教育環境整備について検討していく(子どもが生き生きとする、より良い教育環境での学びを基本に、ハード面、ソフト面の両面から総合的な整備検討の必要性を確認していく)
- (卓越性をめざした特色ある学校づくりや学校評価のなかで、質の高い学力の育成を図り、中学校ブロックを軸に保幼・小・中の学びの接続連携を推進する)
- * 耐震化にかかる整備の計画的実施については、適正な学校規模のあり方を検討する必要がある、第一に子どもたちの発達にとってよりよい教育環境での学びを基本に、幅広く意見を聞きながら、子どもたちが生きる力を育む環境づくりと併せて検討していく
- * 学力向上については、新学習指導要領のめざすところの「生きる力の育成」にあり、確かな学力=質の高い学力、豊かな人間性の育成、健康や体力の向上が重要であり、知・徳・体をバランスよく育てる
- * 通学対策については、低学年の児童数の激減などで安全対策が必要になってくるため、他集落との合同登下校などによる安心安全な対応を検討していく
- * 小学校英語活動については、今後も高等学校とのパートナーズスクール事業を継続するとともに、配置した電子黒板を有効活用していく

【評価を受けて取り組んだこと】

* 生きる力を育む学校教育環境整備については、将来の南丹市をそして未来社会を担うことができる児童・生徒を育成していく上で大変重要な教育課題であるとの認識のもと、校長会等からの提言や学校現場からの報告をもとに議論を深める検討を行った。

* 耐震化に係る整備計画については、年次計画にもとづき実施した。

* 教育振興事業等を通じて、特色ある学校づくりの推進や学力向上・定着に向け、各種取り組み等の学校運営の検証作業(学力総合調整)により計画に基づく実践と検証のサイクルを通じ、体系的な事業展開ができた。

【今年度の評価】

【総合評価】

①目標の達成状況
耐震化については、3校の耐震化を完了し目標値を達成した。
学力水準についても、「概ね良好」という結果が得られた。

②目標値や施策の考え方の見直し

【改善の方向性】

- 今後の方向性
少子高齢化が急速に進行する本市の将来を考えると、本市の特性を踏まえ、中・長期的な視点を備えた教育ビジョンの策定が必要である。
- 各事業の対応
次代を担う子どもの学校教育環境の整備・充実
 - ・生きる力を育む学校教育環境等整備検討組織の設置
 - ・学校施設の耐震化等安全で安心な学校環境の整備改修
 学校の自主性主体性を高め、卓越性を目指した特色ある学校づくり支援を通じた学校教育の充実と推進
 - ・教育創造事業を活用した学校教育の活性化を図る。
 - ・生きる力を育む学校教育新規事業の推進(学力・心・食育)
 - ・保幼小中の一貫教育的な連携強化による学び接続の円滑化を図る。